



欧州 アルバニア



# 送配電網整備事業

主要送配電網の改修・増強を行い、電力供給設備の安定性・信頼性向上に貢献

### 【外部評価者】

三州技術コンサルタント株式会社 坂入 ゆり子/川畑 安弘

### レーティング

有効性・インパクト	b	総合評価 <b>C</b>
妥当性	a	
効率性	c	
持続性	a	

### 本事業の目的

アルバニアの主要送配電網の改修・増強を行うことにより、テクニカルロスの低減等の電力供給設備の安定性・信頼性の向上をはかり、エネルギー資源の効率的な管理を促し、もって対象地域の生活環境改善と経済発展に寄与する。

### 借款契約概要

- 承諾額/実行額: 31億2400万円/30億7200万円
- 借款契約調印: 1996年12月
- 借款契約条件: 金利2.3%、返済30年(うち据置10年)、一般アンタイド[コンサルティングサービス部分は、金利2.3%、返済30年(うち据置10年)、一般アンタイド]
- 貸付完了: 2005年10月
- 実施機関名: アルバニア電力公社(KESH)
- WEBページURL: www.kesh.com.al/

### 本事業実施による効果(有効性・インパクト)

本事業で送電系統設備の改修・増強工事を実施したことにより、2006年の全電力損失率は44.6%と計画値を4%ほど上回るものの、2007年の全損失率は33.5%と大幅に改善しており、円借款の対象地区となった首都ティラナでは、30.2%となった。受益者調査によると、一般家庭、企業の多くが1日1回以上の停電、または電圧変動を経験しており、その結果、機器の故障が頻繁に起こると答えている(一般家庭45%、企業53%)。一方、供給量の増大、電圧の安定性向上、停電の減少等サービスが改善したとの意見があった。本事業の実施により一定の効果発現が見られ、有効性は中程度である。

### 妥当性

本事業は、エネルギーセクターを含むインフラ整備に重きを置く1996～1998年の国家開発計画ならびに、老朽化した電力機器・施設の改修および増強による電力供給の安定化等を電力セクターの最優先事項に挙げる2003～2008年の同計画と整合している。本事業の実施は、審査時および事後評価時ともに開発ニーズ、開発政策と十分に合致しており、事業実施の妥当性は高い。

### 効率性

本事業は、期間および事業費について計画を上回ったため、効率性についての評価は低い。期間は計画比136%で、社会・経済不安にともなうKESHの運営悪化を理由に協調融資を行っていた世界銀行および欧州復興開発銀行が事業実施中の1998年から2年半におよび本事業への貸付を停止したことが大きな理由である(本事業は6ドナーによる協調融資)。総事業費は計画比152%であり、その理由は、貸付停止後の事業見直しの際に新たに合意された追加事業などが事業費に含まれることになったためである。

### 今後の展望(持続性)

事後評価時点で、電力施設についての維持管理は特に問題はない。技術面では、定期的なトレーニングによって、管理能力の向上をはかっている。財政面では、発電を水力に頼っているため、降雨量減少により電力輸入量が増加する年は、KESHの財政が不安定となるが、今後、維持管理予算は増加される予定で、維持管理は相応に実施されると思われる。よって、本事業の維持管理の体制、技術、財務に特段の問題はなく、高い持続性が見込まれると評価される。

### 結論と教訓・提言

以上より、本事業の評価は概ね高いといえる。

### 電力需給バランス(GWh)

	2003	2004	2005	2006	2007
自家発電	4,811	5,395	5,356	5,451	3,813
輸入	916	478	524	605	1,888
供給	5,727	5,873	5,880	6,056	5,701
需要	6,389	6,429	6,640	6,465	6,659
差異	▲662	▲556	▲760	▲409	▲958

※2007年は予測値  
【出典】 KESH